

22. 附属中学校における災害時マニュアルの整備

(学内対応分)

実施時期又は期間

平成23年3月～平成24年6月

対応部局及び人員

附属中学校教員

実施の背景・目的

大震災の際、停電等による通信網の障害により保護者との連絡が取れなくなった状況を踏まえ、大規模災害発生時の対応方法についてマニュアルを作成した。

実施概要

従来の緊急メール網、電話メール網が使用できない通信途絶時の生徒の下校方法について、保護者へ調査を行い、徒歩等で帰宅できる者、保護者が迎えにくるまで待機する者等グループ分けをし、災害時における生徒全員の下校方法を明らかにした。

また、通信途絶時の連絡方法、生徒がいない時間帯に災害発生した際の対応方法、非常時や待機生徒のための防災用品の備えについても定めた。

さらに、大規模災害発生時の下校方法や連絡方法についての文書を保護者へ配布し周知した。

効果又は結果

災害時における学校の対応について明確にし、職員と生徒・保護者間において、共通理解を持つことができた。

担当部局名

教育学部附属中学校

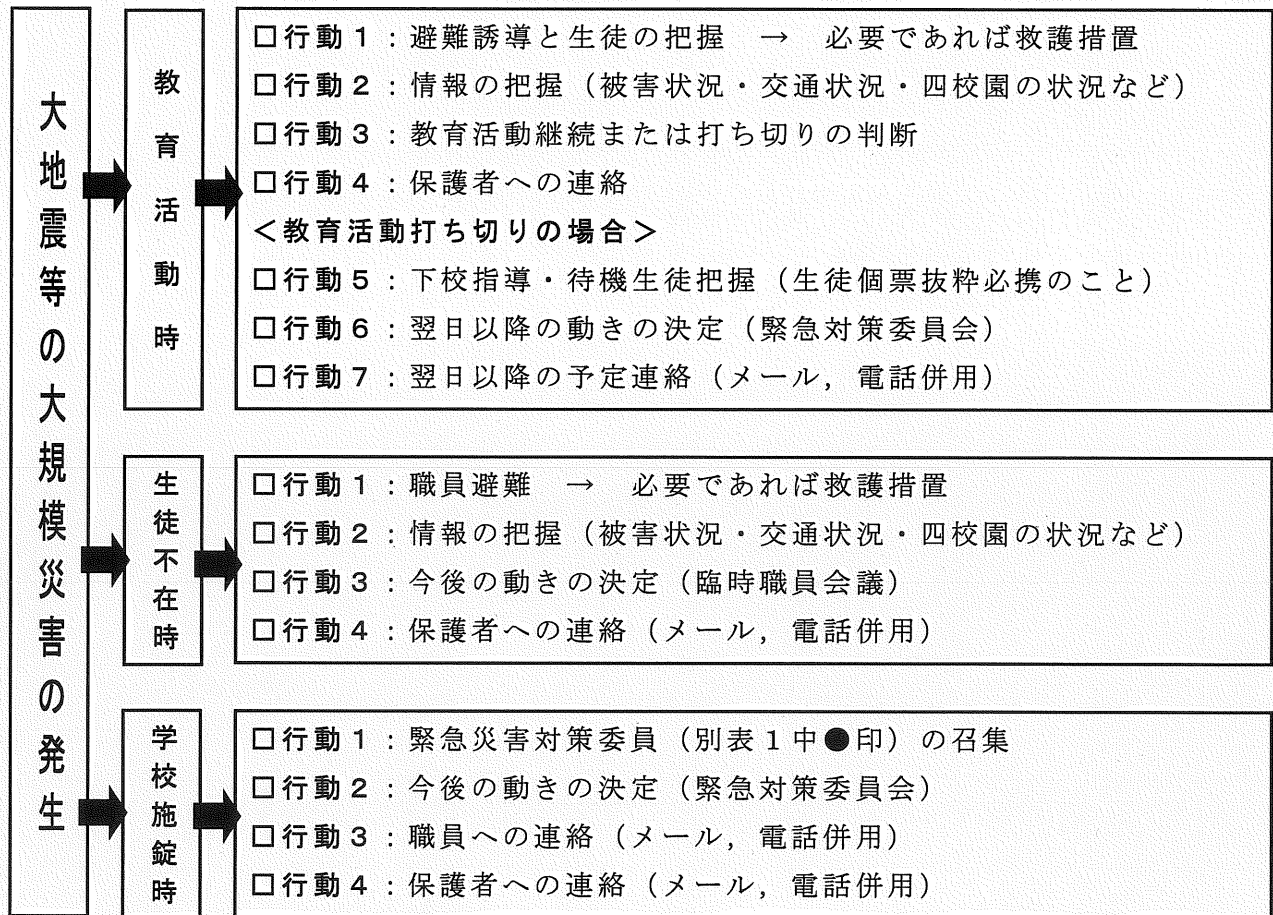
大地震等の大規模災害発生時の対応（概要）

弘前大学教育学部附属中学校

1. 事前に各家庭と共通理解しておくこと

- (1) 停電や交通機関が止まるなど、登校に危険があると保護者が判断した場合は、無理に登校させない。この場合、欠席とはならない。
- (2) 保護者との連絡方法として、緊急メール網および電話連絡網を併用する。
- (3) 緊急時の下校方法を、あらかじめ事前調査しておく。（調査用紙はp.6-7）
- (4) 通信が途絶した場合は、生徒玄関に連絡事項を掲示するとともに、FMアップルウェーブ（78.8MHz tel:38-0788）及びRABラジオ（1062~1485kHz tel:弘前32-6131,青森017-743-1234）に情報を流す。

2. 対応の流れチェックリスト



3. 緊急時の役割分担

- (1) 防火計画の別表1及び別表4を読み替えて対応する。
- (2) 別表中の職員がいない場合は、指揮係（教頭）が代役を指名する。
- (3) 別表に記載がない職員も、指揮係の指示で各係に協力する。

防 災 対 策 委 員 会

	職 名	氏 名
委 員 長	副 校 長	●矢 田 公 夫
委 員	教 頭	●酒 井 清 敏
〃	主 幹	●田 崎 彰
〃	生徒指導主事	相 馬 隆 司
〃	1 学年主任	●大久保 眞 樹
〃	2 学年主任	●蒔 苗 尚 文
〃	3 学年主任	●葛 原 秀 人
〃	教育訓練係	西 谷 英 規
〃	保 健 主 事	森 菜穂子
〃	養 護 教 諭	森 菜穂子
〃	事 務 員	小 松 千 雪

●印：緊急災害対策委員

防災計画別表 4

弘前大学教育学部附属中学校自衛消防隊

係 名	氏 名	火 災 時 の 任 務	大規模災害時の係
隊 長	東 徹	1 消防活動の指揮・命令 2 避難開始時機の決定	同 左
副 隊 長	矢 田 公 夫	1 隊長の補佐 2 隊長不在の時，隊長代行	同 左
指 揮 係	酒 井 清 敏	1 隊長，副隊長の補佐及び自衛消防隊の指揮	同 左
通報連絡係	酒 井 清 敏 田 崎 彰 西 谷 英 規	1 消防機関への通報及びその確認 2 校内への通知及び避難状況等の把握	1 避難放送 2 テレビ・ラジオ等の情報収集 3 四校園の情報収集
避難誘導係	相 馬 隆 司 岩 崎 恵 学 級 担 任	1 生徒の安全な避難誘導 2 生徒の事故防止と安全措置	1 生徒玄関での帰宅生徒把握 2 帰宅生徒の名簿チェック
防護安全係	酒 井 清 敏 三 上 剛 司 須 郷 和 歌 子	1 使用中の電気，ガス，危険物等の安全措置 2 防火扉の開閉	1 待機生徒の把握 2 駐車場との連絡と生徒への帰宅指示
救 護 係	森 菜穂子 鶴 若 匠 柴 田 郁 子	1 避難終了の確認 2 残留者の救出 3 負傷者の応急措置	同 左
初期消火係	葛 原 秀 人 蒔 苗 尚 文	1 火災の初期消化	1 学校周辺の交通状況等の情報収集 2 駐車場での保護者誘導
搬 出 係	田 崎 彰 小 松 千 雪	1 非常持ち出し品の搬出及びその管理	1 防災備品の管理 2 非常持ち出し品の搬出とその管理
警 備	酒 井 清 敏	1 校舎内外の防災・安全確認	

1 生徒が学校で活動中に大規模災害が発生した場合

(1) 直ちに教育活動を中止し、放送等の指示を待つ。

①授業中に発生した場合は、教科担任が生徒の安全確保に努める。

②休み時間等に発生した場合、学級担任は教室に急行し、生徒の安全確保に努める。

③別表4の通報連絡係(教頭・主幹・庶務管理部長)は副隊長(副校長)の指示を受け、避難指示あるいは待機指示を出す(通常は放送。停電時はハンドマイク等)。

(2) 避難指示が出た場合は、指示に従って教科担任または学級担任が生徒の避難誘導を行う。

①通常は校庭が避難場所。但し、積雪時は中庭を避難場所とする。

②指揮係(教頭)の指示で、通報連絡係はテレビ・ラジオ等の情報収集および附属小学校・附属幼稚園等の状況把握にあたる。

③指揮係の指示で、初期消火係(3学年主任・2学年主任)は、情報収集係として学校周辺の交通状況等の情報収集にあたる。

④ある程度の情報が集まるまで、職員・生徒は避難場所で待機する。

⑤副隊長は集まった情報を下に、教育活動を再開するか、下校させるかの判断を下し、職員及び生徒に指示する。

(3) 下校措置となった場合、指揮係の指示で以下の通り下校させる。

①グループA: 自転車(または徒歩)で帰宅できる生徒を想定

・道路状況等の安全が確認できるまで、学校待機。

・安全確認ができ次第、自転車(または徒歩)で帰宅させる。

②グループB: JR・私鉄等の公共交通機関を利用している生徒を想定

・原則として、保護者が迎えにくるまで学校待機。待機場所は指揮係が指示する。

・保護者同士の了解がある場合、保護者代表が複数の生徒を迎えにきてもよい。

③学級担任は、グループ分けを明記した生徒個票抜粋を利用し、帰宅した生徒を確実に把握する。

④初期消火係+男性職員有志は、駐車場で迎えの保護者誘導にあたる。

⑤避難誘導係は、生徒個票抜粋を利用し、生徒玄関から帰る生徒の把握にあたる。

⑥防護安全係は、駐車場からの連絡を受けて、待機場所から生徒を帰す。

※④・⑤・⑥はトランシーバー(職員室後方ロッカーに保管)携帯のこと

(4) その他

①下校グループは事前調査をもとに、あらかじめ分けておく。

②保護者との連絡方法として、緊急メール網と電話連絡を併用する。

・はじめに緊急メール網で連絡事項を伝達。30分ほど返信を待ち、返信がなかった家庭にのみ学級担任(および副担任)が電話で連絡する。

③通信が途絶した場合などは、生徒玄関に連絡事項を掲示するとともに、FMアップルウェーブ(78.8MHz tel:38-0788)及びRABラジオ(1062~1485kHz tel:弘前32-6131,青森017-743-1234)に情報を流す。

2 生徒がいない時間帯に大規模災害が発生した場合

(1) 職員が勤務中の場合

- ①副隊長の指示で指揮係が職員への避難放送を行うとともに、職員の安否を確認する。
- ②以下は「教育活動時」と同じ動きで情報収集に努める。
- ③状況が落ち着いたら臨時職員会議を開き、今後の対応を協議する。
- ④今後の動きを保護者に連絡する。
 - ・はじめに緊急メール網で連絡事項を伝達。30分ほど返信を待ち、返信がこなかった家庭にのみ学級担任（および副担任）が電話で連絡する。
- ⑤通信が途絶した場合などは、生徒玄関に連絡事項を掲示するとともに、FMアップルウェーブ及びRABラジオに情報を流す。

(2) 学校が施設中の場合（夜間や休日を想定）

- ①副校長の指示で、教頭が緊急災害対策委員に集合の連絡をする。集合場所、集合時間は副校長が指定する。
 - ・通信が途絶した場合、緊急災害対策委員は、災害が発生してから2時間後をめどに学校に集合。但し、発生が午後6時以降の場合は、翌日の午前5時に学校集合。大規模災害の場合、集まらない委員も出てくると考えられるので、時間になったら集合できた委員のみで対応を協議する。
- ②緊急災害対策委員会で今後の対応を協議し、その結果を職員に連絡する。
 - ・はじめに緊急メール網で連絡事項を伝達。返信がこなかった職員にのみ学年主任が電話で連絡する。
 - ・通信が途絶した場合、職員はアップルウェーブ等の情報に注意するとともに、可能な職員は午前6時をめどに学校に集合。
- ③通信が途絶した場合などは、生徒玄関に連絡事項を掲示するとともに、FMアップルウェーブ及びRABラジオに情報を流す。

3 防災用品の備蓄

(1) 防災用品は相談室を中心に備蓄しておくものとする。

(2) 備蓄品の管理は、別表4の搬出係が担当するものとする。

(3) 現在の備蓄品は次の通り

□水（ペットボトル500mL：120本，2L：30本）→ **保存期限：2017年4月まで**

□カロリーメイト480本 → **保存期限：2015年5月まで**

□毛布50枚

□組み立て式簡易トイレ10個

□乾電池（単1：56本，単2：26本，単3：108本，単4：72本，9V：10本）

□発電機1機 □投光器2器 □電工ドラム1巻

□折りたたみ式ランタン（電池式）3個

(4) 懐中電灯は職員室前のロッカーに12個、ホッカイロは資料室に多数、CDラジカセは各学級に1台あります。家庭科室にも緊急時利用できるラップ・アルミホイル類や食器があります。ストーブ類は学部教官室にあります。